

「第11次人権問題に関する市民意識調査」について

1 調査の目的

人権問題に関する市民意識の現状を把握し、人権行政を一層推進するための資料とすることを目的として、昭和51年(1976年)以来5年ごとに実施。分野別計画である「北九州市人権行政指針」改訂のための基礎資料とするほか、北九州市が進める「人権文化のまちづくり」の進捗状況の把握にも活用する。

2 調査概要

- (1) 調査対象 市内に居住する18歳以上79歳以下の市民5,000人
- (2) 抽出方法 住民基本台帳から行政区別の人口分布を考慮し無作為抽出
- (3) 調査方法 郵送法(今回より回答は郵送またはWEBとした)
- (4) 調査期間 令和7年(2025年)9月16日～9月29日

3 調査項目

市民意識の経年変化を把握するため、前回と同様の調査項目を基礎とし、社会情勢や人権課題に対する国の考え方の変化なども踏まえ、設問及び選択肢の見直しを行った。質問数は前回同様31問とした。

1 人権全般について	6 同和問題(部落差別)について
2 女性の人権について	7 日本に居住する外国人の人権について
3 子どもの人権について	8 インターネット上やSNSによる人権侵害について
4 高齢者の人権について	9 性的マイノリティの人権について
5 障害のある人の人権について	10 人権に関する学習や情報について

4 調査結果

(1)回答状況

- ①有効回収数 : 2,405人、有効回答率:48.1%
- ②回答者属性 : 男性40.2%、女性55.3%、その他・無回答4.5%
- ③年齢構成比 : 40代までは市全体より低く、50代以上は市全体より高い。

(2)調査結果のポイント

別添資料 『「人権問題に関する市民意識調査(第11次)」結果のポイント』参照

5 その他

本調査結果を踏まえて、「北九州市人権行政指針(令和2年10月改訂版)」の令和8年度中の改訂に向けた作業に着手する。

【指針改訂スケジュール(予定)】

- | | |
|-------------------------------|----------|
| ○人権行政指針第3次改訂版(素案)の作成 | ～ 令和8年9月 |
| ○保健福祉子ども委員会への報告(素案) | 令和8年10月 |
| ○パブリックコメントの実施 | 令和8年10月～ |
| ○保健福祉子ども委員会への報告(パブコメ結果、最終改訂案) | 令和8年12月 |
| ○指針改訂版完成 | 令和9年1月 |

「第11次人権問題に関する市民意識調査」 結果のポイント



保健福祉局人権文化推進課

- 1 調査概要
- 2 人権全般に関する意識
- 3 個別テーマ(課題と必要策)
- 4 同和問題(部落差別)
- 5 人権に関する学習・情報への意識

1 調査概要

- ①調査対象: 18歳～79歳の市民(令和7年5月1日時点)
- ②対象者数: 5,000人(回答数:2,405人、回答率:48.1%)
(※前回回答数:2,457人、回答率:49.1%)
- ③抽出方法 住民基本台帳から行政区別の人口分布を考慮し、
無作為抽出
- ④調査方法 郵送法
【新】WEB回答も可とした。(WEB回答率 11.7%)
- ⑤調査期間: 令和7年9月16日～29日
(前回:令和2年8月25日～9月7日)

回答者属性

※()は前回数値

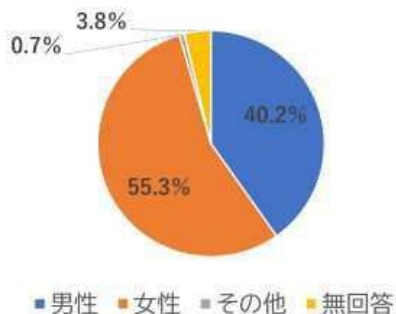
○性別	男性	40.2%(39.8%)
	女性	55.3%(57.7%)
	その他・無回答	4.5%(2.4%)

○年齢構成比

40代までは市全体の構成比より低く、50代以上は高い

回答者属性

性別



年齢構成

	調査サンプル		市全体	
	人数	割合	人数	割合
全体	2,405人	100.0%	675,499人	100.0%
18～19歳	26人	1.1%	17,379人	2.6%
20～29歳	148人	6.2%	89,349人	13.2%
30～39歳	223人	9.3%	88,404人	13.1%
40～49歳	312人	13.0%	112,750人	16.7%
50～59歳	474人	19.7%	129,432人	19.2%
60～69歳	503人	20.9%	110,396人	16.3%
70～79歳	624人	25.9%	127,789人	18.9%
無回答	95人	4.0%	-	-

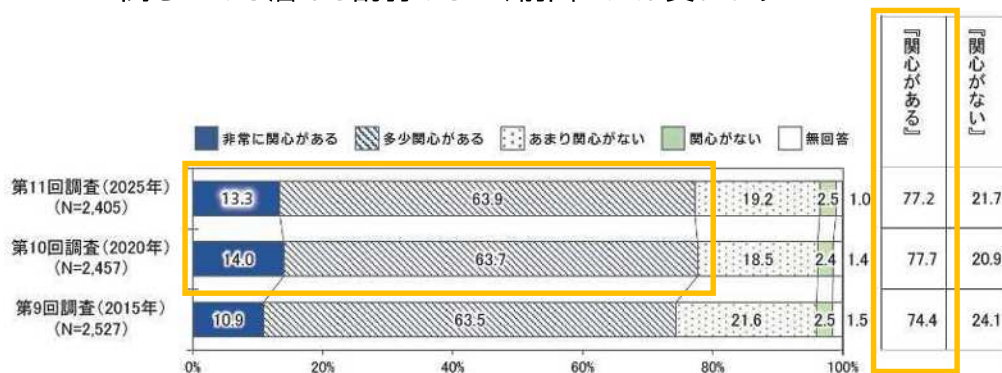
2 人権全般に関する意識

- (1)人権問題・差別問題に対する関心度
- (2)5～6年前と比べた人権意識の変化
- (3)関心の高い人権問題
- (4)人権侵害経験の有無
- (5)人権関係法認知度

(1) 人権問題・差別問題に対する関心度

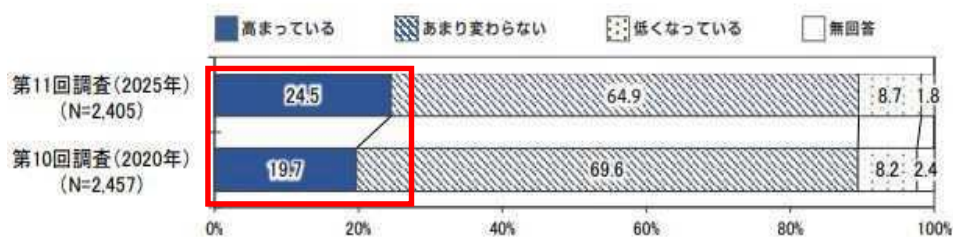
「関心がある」:77.2% (前回 77.7%)

関心がある層は8割弱あるが、前回とほぼ変わらず



(2) 5～6年前と比べた人権意識の変化

「高まっている」:24.5%(前回19.7% +4.8ポイントの増加)



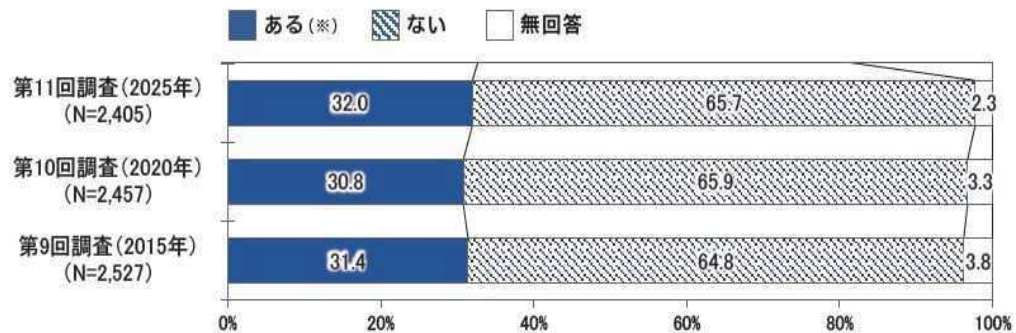
(3) 関心の高い人権問題

※()は前回数値
※複数回答

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 障害のある人 | 56.0%(57.8%) |
| 2 ネット・SNS人権侵害 | 55.6%(57.5%) |
| 3 女性 | 51.1%(45.2%) |

※外国人(6位←前回10位) 37.5%(20.9%)
割合が16.6ポイント増加

(4) 人権侵害経験の有無

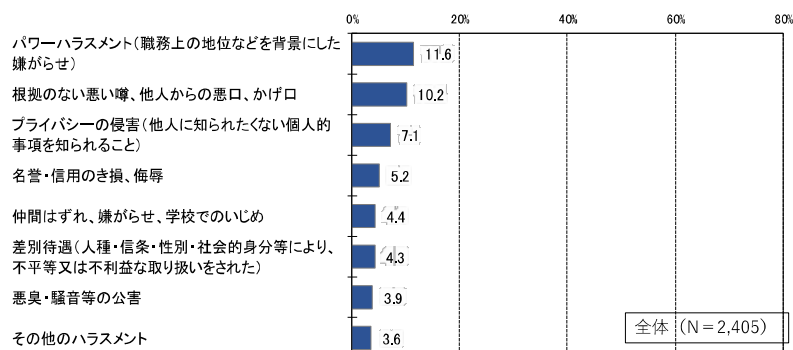


※ 「ある」に該当するいずれかの選択肢に回答した割合

(4-1) 人権侵害経験の内容

※複数回答

32.0%(内容: パワハラ(11.6%)、悪い噂・悪口(10.2%))



(参考) 人権侵害経験が「ある」に該当する選択肢の経年変化

